

第3回 八王子市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会 高齢者計画・介護保険事業計画策定部会 委員からの意見と回答

No.	ご意見・ご質問等	回答
その他		
1	<p>基本理念は希望・安心・未来を使ったものになっているが、とても抽象的なものになっている。柱としてはあっても良いと思うが、無理に理念に使わなくても良いのではないかと感じた。むしろ、柱の中で使われている具体的な用語を使った方が理解してもらいやすいのではないかと。</p>	<p>多くの要素を盛り込みつつ、長くなりすぎない(＝「合言葉」として使える)ものを目指しましたが、ご指摘のとおり3つの柱まで読まない具体的なイメージが伝わらないものになっている恐れがあります。例えば3つの柱は、短いコピーと文章による説明の組み合わせという構造になっていますが、基本理念も同様の構造にすることができないかなど、伝わりやすさを高める方法を検討します。</p>
2	<p>基本理念案3要素の中の「未来」の内容について意見を提出いたします。 原案：「世代を超えて信頼できる制度づくり ①必要なサービスを将来にわたって安定的に提供できる体制が整っている。②世代を超えて納得できる負担と給付の関係が保たれている。」 は、確かに現行の介護保険制度を維持するために重要な事項であり、厚生労働省ならびに市区町村の責務というべき事項でしかなく、達成できたからといって未来が明るくなり市民が喜ぶものではありません。 ここは、ブランディングによる八王子のイメージアップ、他市町村との差異化戦略が重要と考えます。 例えば、未来目標として健康長寿のまち八王子、元気老人のまち八王子を旗印に、「医療福祉科学院（介護人材養成）」設立、スポーツ愛好老人をサポートするスタジアム設立構想など、未来に向けた投資、情熱を表現することがこれまでの介護計画と一味違った基本理念になると期待しております。 今、スタジアムを持つかどうかで地方都市の盛衰が分岐してきます。未来への投資情熱が様々な分野で現れる結果となります。予算・人員に限られた現状にあり、全方位路線から重点突破路線への転換が必要と考えられます。大きな目標を設定し、未来に向けて「やらないこと」「止めること」を決め、重点事項にベクトルを揃えて未来を切り開く勇気が必要ですし、市民が期待するところです。 「医療福祉科学院」設立、スタジアム設立は具体的施策の一例であり、そういう方向性を表す基本理念にしたいものです。</p>	<p>ブランディング戦略はまちの経営そのものであり、全行政分野を貫いて進めていく必要があることから、分野別計画である本計画の中で直接的に扱うことには難しさもあります（計画として定めるとしたら市の最上位計画に近い位置づけになるかと思えます）。 しかしながら、個別計画の中でも差別化された価値を創造・発信していくことは重要です。 ご意見の趣旨を踏まえ、計画策定にあたっては、「八王子の目指す高齢社会が他とどう違って、どう魅力的なのか」「そのためにどんなことをやめるのか、やらないのか」が伝わる内容になるよう検討を進めてまいります。</p>
3	<p>①C06アウトカム④の4項目目の「その他の生活支援サービス」とは、利用者負担軽減制度のほかにありますらお知らせ下さい。 ②また、「利用者負担軽減制度」はグループホーム入所者にしか該当しないのでしょうか。 ③C06「見守りシール」ですが、普及状況をお知らせ下さい。 ④C07事業・施策の「認知症グループホームの利用者負担軽減制度」ですが、どのアウトカムにつながるのでしょうか。 以上、宜しくお願い致します。</p>	<p>①「その他の生活支援サービス」は個別ロジックモデルC10にあるように、民間企業によるサービスや地域住民によるサービス等多様な主体から提供されるインフォーマルサービスがあります。具体的には、地域の介護保険施設等によって提供される移動支援や家事代行サービス、地域住民団体によって提供される買い物付き添いや見守り・傾聴などのサービスのほか、スポーツクラブによる体操レッスン、お弁当配食時の安否確認などが挙げられます。 ②介護保険制度では、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）・介護老人保健施設・介護医療院等について、食費および居住費の負担を軽減する制度（補足給付）があります。認知症高齢者グループホームはこの制度の対象外であるため、八王子市では市の独自事業として、補足給付と同等の補助をグループホーム入所者に対して実施していません。 ③令和4年度末時点で延べ93名の方が登録されています。なお、令和4年度は15名の方の新規申込みがありました。 ④必要なサービスを使いやすい環境を整えるための事業でしたが、ロジックモデル上のリンクが整理できておりませんでした。当日の議論も踏まえ、またC01のロジックモデル構造も固めながら「サービスが使いやすい環境づくり」について位置づけを検討してまいります。</p>
4	<p>全体的に言葉の使い方を見直した方が良いと思います。 傷つく人がいないように、前向きな気持ちになれるように。 特に気になった点（アウトカム2） C13 再自立が可能な方→不可能な方とは？ 不可能な人がいるような感じを受ける。 自立の概念は自分らしく生活できること、たとえ要介護状態になってもでは？ C6 家族の負担が軽減されている→介護者の家族がいきいきと生活できるなど前向きな記載はどうか C7 認知症になっても自分らしく安心して生活できる等前向きな表現はどうか ※認知症の予防については誰もが発症の可能性があることを踏まえて記載したほうが良いと思う。認知症になった方が悪者にならないように。 C14 サービスありきなのか？ 詳細まで見られず申し訳ございません。気づいたところを記載しました。 高齢者、認知症の方や、要介護の方、病気のある方などに配慮した言葉の使い方を検討願います。</p>	<p>様々な（状況にある）高齢者の皆様も対象とした計画であることを意識し、前向きな表現方法を検討します。 ご意見をいただいて、確認できることも多くございますので、検討案につきまして引き続き部会等でご意見をいただきますようお願い申し上げます。</p>